

# 今週の相場はどうなる？

## 今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

○9月5日～

ドルは節目の140円を突破しましたが円安の流れが続くかに注目です。  
米国の金融政策は経済指標のデータ次第ですが金融引き締めは当分続く可能性が高く下げてきている米国株の動きも気になります。  
そして、今週はユーロ圏で金融政策の発表があります。  
エネルギー価格の高騰が止まらないユーロ圏で利上げ幅がどの程度になってくるかにも注目したいです。月曜にはOPECプラスの会合もあります。

<ドル／円>

140円台後半まで値を伸ばした後、少し下げてマーケットは終わっています。  
下がってきても138円台を維持できれば強い動きが続きそうです。  
8月初めの130円から10円ほど上昇しているため高値追いはリスクもありそうです。

<気になるクロス円>

ポンドは日足で見てもレンジ相場のような方向感のない動きです。  
オセアニア通貨も上値が重そうにも見えるので、崩れる動きが出てきたら警戒がいらいます。

\*クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

<ファンダメンタル？>

日本では4－6月期GDP（改定値）、7月貿易収支などがあります。  
米国では8月サービス部門・総合PMI（改定値）、8月ISM非製造業景況指数、7月貿易収支、米地区連銀経済報告（ベージュブック）、前週分新規失業保険申請件数、パウエルFRB議長発言などの発表があります。  
欧州ではドイツとユーロ圏で8月サービス業PMI（改定値）、ユーロ圏で7月小売売上高、4－6月期GDP（確定値）、ECB政策金利発表、ラガルドECB総裁定例会見、ドイツで7月製造業新規受注、7月鉱工業生産などがあります。  
ほかには、オーストラリアとカナダで政策金利、オーストラリアで4－6月期GDP（確定値）の発表などがあります。